



2020年7月13日

各位

興和株式会社

緑内障・高眼圧症治療剤「K-115」の マレーシアにおける承認取得のお知らせ

興和株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長 三輪 芳弘、以下「興和」）は、世界に先駆けて日本で販売している緑内障・高眼圧症治療剤「グラナテック®点眼液 0.4%」（開発コード：K-115、一般名：リパスジル塩酸塩水和物、以下「本剤」）につきまして、2020年7月9日付で、マレーシアにおいて開放隅角緑内障・高眼圧症を適応症として承認を取得しましたのでお知らせいたします。

本剤は既に世界初の Rho キナーゼ阻害作用を有する緑内障・高眼圧症治療剤として、2014年12月より日本で先行販売を開始しており、同時に世界戦略品としてグローバル展開を進めています。かねてよりマレーシアにおいても、初めての Rho キナーゼ阻害作用を有する緑内障・高眼圧症治療剤として申請を行っており、このたびの承認取得に至りました。既存の薬剤と作用機序の異なる本剤の提供を通じ、患者さんの緑内障・高眼圧症治療における眼圧コントロールへ寄与できるものと期待しています。また同国における販売体制を早期に整備し、東南アジア地域における興和のプレゼンス向上に努めていく所存です。


興和は、感覚器領域（眼疾患）を重点領域のひとつと定め、医療用医薬品ではリパスジル塩酸塩水和物を用いた緑内障・高眼圧症治療剤の製品拡充およびフックス角膜内皮変性症治療剤の開発を進めています。また、医療機器では白内障治療における眼内レンズ（「アバンシィ™」シリーズ）、国際的にも高い評価を受ける眼底カメラを始めとした眼科医療機器などのグローバル展開を積極的に推進し、未だ満たされていない医療ニーズにお応えしていく所存です。

■グラナテック®点眼液 0.4%について

本剤は、Rho キナーゼを阻害することにより、線維柱帯-シュレム管を介する主流出路からの房水流出を促進することで眼圧を下降させます。

日本国内で実施した原発開放隅角緑内障および高眼圧症の患者さんを対象とした臨床試験において、本剤は、単独での使用および既存の緑内障・高眼圧症治療剤と併用での使用のいずれの場合でも、眼圧下降効果を示すことが確認されています。

以上

 興和株式会社	広報部（東京）	東京都中央区日本橋本町 3-4-14 TEL：03-3279-7392
	本店（名古屋）	名古屋市中区錦 3-6-29